



雪小だより 3月号

令和6年2月29日
大田区立雪谷小学校
校長 八木 貴広

<http://www.ota-school.ed.jp/yukigaya-es/index.html>

成長したということ

校長 八木 貴広

年度末が近付き、子どもたち一人一人が、この一年の自分の成長を振り返る時期になりました。修了式では、一年の間にできるようになったことを学年代表の子どもが発表します。毎年感心するのは、自分ができるようになったことを自ら明確に意識しているという点です。そしてもう一つ、日常生活の一部として定着しているがゆえに当の子どもの意識に上りにくい成長もあるものです。たとえば、ちょっとした言動であったり、生活行動であったり、集団で醸し出す雰囲気であったり。そういったものは、子どもたちの間近にいるときに「おっ、成長したな」という確かな実感と共に見えてきたりします。今年度最後の学校だよりでは、杉の子学級の校外学習を例にとりて、子どもたちの成長を皆さんと共有したいと思います。



杉の子学級の校外学習は、今年度は5回ありました。最後の5回目は、池上会館での連合作品展見学です。杉の子学級の子どもたちとお話しながら当日の様子をご紹介しますことにしましょう。

「これはどこで撮った写真？」

「雪谷大塚の駅ですね。今年2回目の電車利用だったけど、ホームでの待ち方も、とっても落ち着いていました。すごく品のよい待ち方をしているので、どこの小学生かと思ったぐらいですよ」

「わたしはウサギグループにいました」

「そうでしたね、グループ行動でした。同じ車両に乗るけれど、グループごとに違うドアから乗り込みましたね。短時間で素早く乗り込むことができましたね」

「電車がすいていました」

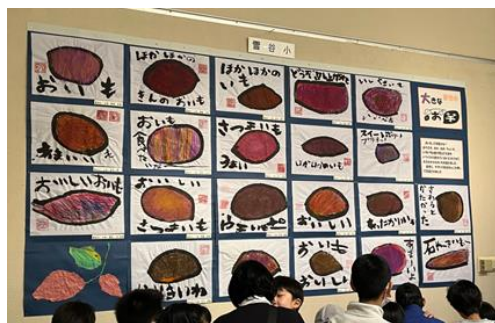
「みんな座れましたね。座ってもソワソワ動かないし、ものすごく小声でお話できるから、ほかのお客さんもニコニコしてみんなを見ていましたよ」

「信号を渡っているところ？」

「池上駅前の交差点ですよ。この日はね、子どもたち同士で手をつないで2列で歩いてたでしょ。ああ、もう自分たちの力で移動できるんだなあって感心したので写真を撮りました」

「1年生と手をつないで歩いたよ」

「上の学年と下の学年がペアになって歩いていましたね。大きい子は必ず自分が車道側を歩くようにしていましたね。当たり前になるようになりましたね」



「みんなのお芋の絵がある！」

「とっても大きな作品だったので、会場でも目立っていましたね」

「僕のお芋、どう？」

「とってもおいしそう。色の重なり具合がいかにもサツマイモ。このなかで、ああ、すごいなあ、さすがだなあ、と思ったのがあるよ」

「どれ？」

「6年生の描いたサツマイモ。なんて書いてあるか読めるかな？」

「『どうぞ召し上がれ』って書いてある」

「誰かに届けたいという思いが伝わるように工夫したんですね」

一つのできることの周りには複数のできることが、さながら分子模型の原子球のように結合していると想像しています。そんな子どもたちのこれからのますますの成長を願い、俵万智さんの歌を一首引いて今年度の結びとします。

バンザイの姿勢で眠りいる吾子よ そうだバンザイうまれてバンザイ

今年一年、保護者・地域・関係諸機関の皆様には、深いご理解と多くのご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

3月の目標

一年の生活を反省し
次の学年への心構えをもとう

1	金	児童集会 読書週間終 保護者会(1・2・杉)	SC
2	土		
3	日		
4	月	放送朝会 保護者会(3・4年)	
5	火	保護者会(5年)	
6	水	学習タイム 卒業を祝う会 保護者会(6年) 安全指導日	
7	木	委員会活動	SC
8	金	運動朝会(1年生・杉の子) 6年生を送る会	
9	土	土曜授業日 算数補習(3・4年)	
10	日		
11	月	放送朝会	
12	火		
13	水	学習タイム 算数補習(3・4年)	
14	木		SC
15	金	運動朝会(3年)	SC
16	土		
17	日		
18	月	放送朝会 卒業式予行練習 午前授業(1～4年)	
19	火	大掃除	SC
20	水	春分の日	
21	木	午前授業 給食終	
22	金	卒業式	SC
23	土		
24	日		
25	月	修了式	
26	火	春季休業日始	
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		

※SC…スクールカウンセラー

※3月の避難訓練は予告なしで行います。

※22日(金)の卒業式は、6年生と、5年生の代表児童が参加します。5年生は、全員登校して6年生を見送ります。1～4年生は、お休みです。

卒業に向けて(6年)



6年担任

残すところ、登校日数も20日を切りました。4月は、1年生のお世話にオロオロして戸惑い、担任に相談しに来ることもあった新米6年生。そんな6年生が、雪小フェスティバル、とうぶ休養村への移動教室、運動会の係児童活動、音楽会、ステップタイム活動…と、目まぐるしいほどの行事を経て、仲間と共にくましく成長しました。そして今、最高学年として、自覚と自信に満ちた表情で3月を迎えています。

下級生のために、雪谷小学校のためにと、鼓笛や委員会など、少しずつ5年生へと引き継ぎが始まっています。卒業に向けて、それぞれの感謝を形にすることで雪谷小学校への恩返しができればと考えています。

3月22日(金)は、卒業式です。卒業生の保護者の皆様におかれましては、万障お繰り合わせの上、ご列席いただき、6年間の学び、お子様の成長した晴れ姿をご覧ください。教職員、在校生で新たな旅立ちを見送りたいと思います。

6年生を送る会

特活部

今年度は久々の雪小フェスティバルや、全校揃っての運動会、初めての音楽会など、行事が盛りだくさんでした。委員会やクラブの活動も制限なく行われ、子供たちにとっても充実した1年間となりました。その陰で、いつも努力をしてくれたのは6年生です。8日(金)には、そんな6年生に「今までありがとう」の気持ちを込め、各学年が出し物をします。6年生の児童にとって思い出深い行事になるとともに、1～5年生の児童にとっては、次の学年を意識できるきっかけとなるよう各学年で指導をいたします。

校内研究のまとめ

研究推進委員長

保護者の皆様は、「物語文を読んで疑問に思ったことから、感じたことや、考えたことを伝えよう。」と投げかけられたら、どんなことを話しますか。主人公の人柄のこと、クライマックスのシーンについて、表現の美しさなど、一人一人、心に残ったことは違うのではないのでしょうか。

今年度、本校では、「自分の考えを広げたり深めたりする、児童の育成～国語科における自分の考えの形成に着目して～」という研究主題のもと、研究を進めてきました。

一人一人の感じ方や考え方、心に残ったことの「違い」を授業の中で伝え合い、認め合うような活動を、全6学年と杉の子学級で行いました。様々な学年での実践を通して、話すことで自分の考えを表現できる子、書くことで自分の考えを整理できる子、様々な子供たちがいる中で、どのような授業展開が望ましいのか研究を深めることができました。

「自分の考えをもつ」ということは、雪谷小学校の中でも長い間課題に挙げられることです。今年度の研究の成果を、国語科のみならず、様々な面で発揮できるよう、努めてまいります。